



品評会表彰者



木のたまごプールで遊ぶ子どもたち



緑日に子どもたちが集まる



企業による展示と販売



出品された農産物の展示



坊沢の豆腐早食い競争



山の芋とろろ飯大食い大会



おちゃんのバルーンパフォーマンス



バター餅のB-1G4が選ばれる

北秋田市の農・工・商が一堂に集結

産業で輝く 新時代の北秋田 第13回北秋田市産業祭

産業祭は、市全体の地場産業の振興や地域経済の活性化を図るため、市や商工会、JAなどで作る実行委員会の主催で毎年行われているもので、13回目を迎える今年には「産業で輝く 新時代の北秋田」をテーマに開催されました。

19日の午前10時に鷹巣体育館ステージで行われた開会セレモニーでは、主催者を代表して津谷市長が「今年は今令和元年度ということで『産業で輝く 新時代の北秋田』をテーマに掲げ、様々な産業を発信していきたいと思っている。見て、食べて、感じてもらう産業祭を楽しんでもらいたい」となどあいさつ。このあと、代表者によるテープカットで産業祭の開催を祝いました。

農産物品評会表彰では、今年の品評会に出展された農産物256点の中から、市長賞（2点）、JA秋田たかのす組合長賞（8点）、秋田県たばこ耕作組合長賞（1点）の1等賞に11点、2等賞に20点、3等賞に24点の計55点の農産物が選ばれました。

館内では、農産物の展示、各事業所による企業製品の展示や販売、秋田北鷹高校の学校活動の紹介、健康づくり&福祉コーナー等が設けられ

たほか、サブ体育館の「わんぱくキッズ広場」では、巨大ダンボール迷路や木のたまごプールが設けられ、「わくわく緑日スタンプラリー」には多くの子どもたちが参加していました。

駐車場では、自衛隊や消防、株式会社フジモトによる車両展示のほか、地元飲食店による屋台や秋田犬ふれあいコーナーが設けられ、多くの来場者でにぎわいました。

ステージでは、恒例となった「坊沢の豆腐早食い競争」「山の芋とろろ飯大食い大会」などが行われたほか、20日にはバルーンパフォーマンスのおおちゃんによるステージショーが行われ、会場からは大きな拍手が送られました。

BMセレクション2019プロコンテストでは、エントリーした事業所の中から先着300人の来場者による投票が行われ、「精まい家」、「鷹松堂」、「みうら庵」、「大川米屋」の4社がB-1G4に選ばれました。

産業祭のフィナーレでは、日本バター餅協会の村井松悦会長、B-1G4らによるバター餅の餅まきが行われ、2日間にわたる産業祭の最後を盛大に締めくくりました。